

11:22 もし、あなたがたが、私の命じるこのすべての命令を忠実に守り行ない、あなたがたの神、主を愛して、主のすべての道に歩み、主にすがらなら、

11:23 主はこれらの国々をことごとくあなたがたの前から追い払い、あなたがたは、自分たちよりも大きくて強い国々を占領することができる。

11:24 あなたがたが足の裏で踏む所は、ことごとくあなたがたのものとなる。あなたがたの領土は荒野からレバノンまで、あの川、ユーフラテス川から西の海までとなる。

11:25 だれひとりとして、あなたがたの前に立ちはだかる者はいない。あなたがたの神、主は、あなたがたに約束されたとおりに、あなたがたが足を踏み入れる地の全面に、あなたがたに対するおびえと恐れを臨ませられる。

11:26 見よ。私は、きょう、あなたがたの前に、祝福とのろいを置く。

11:27 もし、私が、きょう、あなたがたに命じる、あなたがたの神、主の命令に聞き従うなら、祝福を、

11:28 もし、あなたがたの神、主の命令に聞き従わず、私が、きょう、あなたがたに命じる道から離れ、あなたがたの知らなかったほかの神々に従って行くなら、のろいを与える。

11:29 あなたが、はいつて行って、所有しようとしている地に、あなたの神、主があなたを導き入れたなら、あなたはゲリジム山には祝福を、エバル山にはのろいを置かなければならない。

11:30 それらの山は、ヨルダンの向こう、日の入るほうの、アラバに住むカナン人の地に

あり、ギルガルの前方、モレの榎の木の付近にあるではないか。

11:31 あなたがたは、ヨルダンを渡り、あなたがたの神、主があなたがたと与えようとしておられる地にはいつて、それを所有しようとしている。あなたがたがそこを所有し、そこに住みつくとき、

11:32 私がきょう、あなたがたの前に与えるすべてのおきてと定めを守り行なわなければならない。

「私は、きょう、あなたがたの前に、祝福とのろいを置く。」とあります。これは永遠の真理をも表しています。すなわち全人類にもまた祝福とのろいがあるということです。当然神様に従うなら祝福です。しかし誰も神の律法に従えませんでした。また心の記された良心にも従うことができませんでした。

全人類がのろいに定められていたのに、そののろいをイエス様があの十字架で受けてくださったのです。十字架の意味とその愛を再認識しつつ感謝しましょう。

また地上を歩むにあたって、私たちは神の真理によって行きます。主に従う場合とそうでない場合の結果が明らかに違うのだということを、しっかりと踏まえて生きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

